

住民と一緒に道をきれいに

札幌聾小学部が町内会と合同清掃



積極的にごみを拾う児童ら

の美化に貢献した。

小学部で毎年行っているもので、前年度から町内会と合同の清掃活動を実施。学校周辺の地域を知り、地域住民とともに学校生活をしていることに気づく機会

とすることをねらった。

この日、はじめに代表児童がごみ拾いの注意点などを説明。

動物の死がいやガラスなどの危険物を拾わないよう

呼びかけたほか、紅・白組に分かれて清掃活動を行うことを伝えた。

児童全員で参加住民に

「よろしくお願いします」と手話とともにあいさつ。

「頑張るぞー!」と大きな掛け声を合図に清掃活動を開始した。

清掃活動では、高学年の児童が低学年の児童にごみのある場所を教えるなど、リーダーシップを発揮。また、地域住民とコミュニケーションを取りながら積極的にごみを拾った。

児童会長の宮原佑綺君（六年）は、地域住民とともに活動することについて「仲良くなれるのでいいと思う。ごみを見つけたのが楽しい」と話していた。

札幌聾学校（熊谷英雄校長）は二十二日、校外清掃活動を行った。小学部の児童三十八人が参加。地域住民十五人とともに、学校周辺のごみを拾い、町内環境